

令和５年度第２回白井市放課後子どもプラン推進委員会会議

- 1 開催日時 令和６年３月１４日（木）午前１０時から正午まで
- 2 開催場所 白井市役所東庁舎 ３階 会議室302.303
- 3 出席者 鈴木委員長、川村委員、赤瀬委員、中野委員、森田委員、土屋委員
讓尾委員、宗政委員、片桐委員
- 4 欠席者 関水委員、坂谷委員、和地委員
- 5 事務局 山本生涯学習課長、中原係長、會主査補、荻野主事
- 6 傍聴人 ２人
- 7 議 題 （１）令和５年度事業報告について
（２）令和６年度事業計画について
（３）その他

8 議 事

○事務局 委員の皆様、本日はお忙しい中、御出席くださいます。ありがとうございます。ただいまより、令和５年度第２回白井市放課後子どもプラン推進委員会会議を開催します。マイクは皆様の机の上に置いてあるものをご使用ください。なお、マイクの電源はオフにしております。電源をオンにいただき緑色のランプがついたのを確認してからご発言をお願いします。なお、電源のスイッチはマイクの底の部分にあります。ボタンを数秒間押し続けると電源が入ります。

○事務局 次に会議の成立についてですが、白井市附属機関条例第６条第１項で、会議は委員の過半数が出席しなければ開くことができないと定められております。本日の出席者は委員１２名中９名の参加となり、過半数を超えておりますので本日の会議が成立することを報告します。また、白井市審議会等の会議の公開に関する指針の規定に基づき、本会議は公開で開催されることとなりますのでご承知おきください。

それでは、会議の開催にあたりまして、委員長より一言ごあいさつをいただきたいと存じます。

○委員長 皆さんこんにちは。でございます。皆さんや教育委員会の皆さん、あるいは多くの方が関わってくださっているおかげで順調に展開できているのかという感想を持っております。子供たちも、コロナ前の状況に大分戻りつつあるのではないかと、その辺ではちょっと安心しているのですが、ただ、生活の面ではどうなのでしょうかね。まだまだ値上がりの圧迫を受けて、御家庭もなかなか

苦しい状況があるのではないかと思いますし、その結果、子供たちが孤立したり、あるいは、いわゆる貧困といわれる問題に直面したりしながら、結構苦しんでいるんじゃないかと思います。

この事業が、そういう子供たちがより楽しく、あるいは伸び伸びと成長していけるようにという一つの導きの事業だと思いますので、本日は御意見を頂戴しながら、よりよい形が、またできてくれればありがたい、できればと思いますので、どうぞよろしくお願いしたいと思います。

○事務局 委員長ありがとうございます。それでは、白井市附属機関条例第6条第1項で「委員長が会議の議長となる」と定めております。それでは、委員長、議事の進行をよろしくお願いします。

○委員長 はい。それでは、会議を始めさせていただきます。次第に沿って御報告いただきたいと思いますが、議題1「令和5年度事業報告」について、事務局より説明をお願いします。

○事務局 ありがとうございます。それでは、議題1、令和5年度事業報告について説明させていただきます。

説明の前に、会議資料につきましては、令和5年度の放課後子ども教室事業が全て終了いたしましたので、そちらの数値に入れ替えたものを、今回、配付させていただいております。

なお、先に議題2の会議資料につきましては、皆様に予めお配りしております資料と同一のものとなります。

それでは、今年度の事業報告について説明をさせていただきます。ここでは、今年度を実施した白井第二小学校、大山口小学校、池の上小学校、白井第一小学校の4校の実績について説明をいたします。

資料は、本日、配付させていただきました議題1、令和5年度事業報告についてと、4校の実績をまとめた報告書、放課後子ども教室の推移の資料を使用させていただきます。

それではまず、白井第二小学校について説明をさせていただきます。資料は、議題1、令和5年度事業報告についてのページをめくっていただいて、1ページ目と2ページ目、令和5年度白井第二小学校放課後子ども教室事業報告書を使用させていただきます。

白井第二小学校についてですが、年度初めは14名の児童の方にお申込みいただきまして、年度途中に4名の児童が追加となり、最終的には、18名の児童に御参

加いただきました。

児童の内訳についてですが、1年生が7名、2年生が6名、4年生が1名、5年生が3名となり、男子児童が10名、女子児童が8名、また、学童に通所していた児童は7名という形になります。

続いて、平均参加人数と平均参加率について説明させていただきます。平均参加人数は、実際に参加した人数を活動の合計回数である29回で割った数となりまして、こちらは14名という形になりました。

また、平均参加率は、参加人数を登録者数で割った数となり、84.8%となりました。

続きまして、活動日時について説明させていただきます。今年度の白井第二小学校の下校時刻が午後3時頃でしたので、1回当たり約1時間半の活動という形になりました。

また、通常の活動に加えまして、夏季休暇中、短縮日課をそれぞれ1日ずつ開催させていただきました。

続いて、活動回数についてですが、予定回数31回に対して、合計数29回という形になります。

続いて、主なプログラムについて説明をさせていただきます。今年度も様々な地域の方々に御協力いただきながら運営をすることができました。本日、会議に御出席いただいている、おはなしのたまてばこさんにも、2回、御参加いただきました。御協力ありがとうございます。

文化活動で実施した事業といたしましては、座禅教室があります。資料をめくっていただいて、2ページ目のところに活動の様子を写したものを掲載させていただいております。こちらは、白井第二小学校の近くにあります来迎寺さんのご住職の方にお越しいたしまして、座禅教室を実施しました。

また、地域交流活動として、白井第二小学校のコーディネーターのお知り合いの方をご紹介いただき、スノードームづくりや塩アート体験を実施していただきました。

また、包括連携協定を組ませていただいております株式会社カスミ様にも食育教室を実施していただきました。

また、スポーツ活動といたしまして、タグラグビー体験ということで、こちらNECグリーンロケッツさんに御協力をいただきまして、活動をさせていただきました。

また、コーディネーターの方々が中心となりまして、ハロウィンの衣装づくりですとか、クリスマス会といったような季節の活動ですとか工作活動も実施しております。

また、今年度から少しコロナも緩和されたことでもありますので、8月に夏祭り企画というものを実施させていただきました。こちらは、うちわづくりとかき氷づくり、それからスーパーボールすくいの三つをやりました。

また、夏祭り企画は事業周知の目的もございましたので、放課後子ども教室に参加していない白井第二小学校の児童も対象として実施をしました。実際にお越しいただいた方の人数につきましては、参加人数26名となります。

また、④白二祭展示というところで、こちら白井第二小学校が主催する白二祭というイベントがあるのですが、こちらに放課後子ども教室の展示スペースを設けさせていただきました、子供たちが放課後子ども教室中に作成した作品を展示させていただいて、事業のチラシを配布しました。

また、資料戻っていただきまして、1ページ目になります。スタッフ数についてですが、こちらコーディネーター4名、安全管理員6名、各回2名ずつ御参加いただいております。

最後、その他の活動といたしまして、コーディネーター会議を5回、先ほど説明した夏祭り企画の実施や白二祭での展示会を実施いたしました。

続いて、大山口小学校放課後子ども教室について説明をさせていただきます。資料は、ページめくっていただいて3ページ目と、令和5年度大山口小学校放課後子ども教室実績報告を使用いたします。

大山口小学校についてですが、年度初めは22名の申し込みがありまして、年度途中に1名退室になりまして、最終登録者数は21名となります。児童の内訳についてですが、対象学年は1年生ですので、全員1年生児童となりまして、男子児童が11名、女子児童が10名、途中から女子児童が9名となりました。

また、学童に通所している児童につきましては、11名という形になりまして、年度途中に10名という形になりました。

続いて、平均参加人数と平均参加率についてです。平均参加人数は20名、平均参加率は92.7%となります。

続いて、活動日時についてですが、第2・第4木曜日下校後、午後2時半頃となりまして、午後4時半までということで、1回当たり約2時間開催という形になっております。

続いて、活動合計回数についてですが、年間17回予定しておりまして、全て実施することができましたので、活動回数も17回という形になります。

続いて、主なプログラムについて説明させていただきます。昨年度までは、大山口小学校の子供たちの自主性を育むために自由遊びという形で実施していましたが、今年度はほかの教室とも併せて、子供たちの自主性を育みながら、何か体験ができないかということで、コーディネーターさんを中心にプログラムを企画して、

活動いたしました。

活動内容につきましては、紙芝居等の読み聞かせですとか、スポーツ活動として風船遊び、工作活動として短冊づくりなどを実施しております。

こちら、1枚資料をめくっていただきまして、大山口小学校の活動写真を掲載させていただいております。先ほどスポーツ活動で説明した風船遊びのほかに、西白井消防署の職員の方にお越しいただき、消防車見学も実施をさせていただきました。

また、続いてスタッフ数についてですが、コーディネーターが2名、安全管理員が7名、各回コーディネーター2名、安全管理員4名という形になっております。

最後に、その他の活動といたしまして、コーディネーター会議4回、コーディネーターさん、安全管理員さん全員集まっていたスタッフ会議を年1回開催しました。

また、これのほかに、今年度からプログラムに移行した形もありますので、毎回、大山口小学校の放課後子ども教室の終了後に、30分ほど反省会を兼ねた打合せをさせていただいております。

続いて、ページめくっていただきまして、池の上小学校放課後子ども教室について説明をさせていただきます。資料のほうは、池の上小学校と記載されたものと令和5年度池の上小学校放課後子ども教室事業実績報告となります。

池の上小学校についてですが、年度初めは23名の児童にお申込みいただきまして、年度途中に6名の児童が追加となり、最終的には29名という児童になりました。児童の内訳についてですが、大山口小学校と同様で、池の上小学校も1年生のみを対象としておりまして、男子児童が18名、女子児童が11名、学童に通所する児童が12名という形になります。

続いて、平均参加人数と平均参加率について説明いたします。平均参加人数は22名、平均参加率は82.2%という形になります。

また、活動日時についてですが、毎週木曜日、下校後から午後4時半の大体1時間半ほど開催させていただいております。

活動予定回数についてですが、予定回数は33回、実際に活動した回数は31回という形になります。

続いて、活動内容についてですが、文化活動として映画鑑賞、スポーツ活動として、株式会社アンフィニさん独自でやられておりますプレーアドバイザーによる運動教室、工作活動としてスライムづくり、地域交流活動として、昔の遊びを楽しもうということで、こちらは、子ども会の方に御出席いただきまして、活動をしたというものになります。

続いて、スタッフ数についてですが、コーディネーター2名、安全管理員2名、こちら各回全員出勤という形になります。

最後に、その他の活動といたしまして、会議等を5回、開催しております。

続いて、白井第一小学校放課後子ども教室について説明をさせていただきます。資料は、白井第一小学校と記載されたものと令和5年度白井第一小学校放課後子ども教室実績報告になります。

白井第一小学校につきましては、年度初め21名の児童にお申込みいただきまして、年度途中、1名児童が追加となり、最終的には22名の児童になりました。

児童の内訳についてですが、こちら、1年生から3年生までを対象としておりまして、学年の詳細を把握していなくて大変申し訳ないです。こちらは後で報告をさせていただければと思いますが、男子児童が10名、女子児童が12名、学童に通う児童は8名という形になっております。

続いて、平均参加人数と平均参加率について説明いたします。平均参加人数は18名、平均参加率は82.0%という形になります。

続いて、活動日時になります。毎週木曜日、下校後、午後3時頃から午後4時半まで約1時間半、開催をしております。

続いて、活動回数についてですが、こちら、予定回数33回に対しまして28回の活動となります。

続いて、活動内容についてですが、文化活動で読み聞かせ、こちらは地域で読み聞かせをしているおはなしバスケット様に依頼をして、毎月1回、読み聞かせの活動をしております。続いて、スポーツ活動ですが、千葉ジェッツさんに御協力いただきまして、バスケット教室を月に1回ほど実施をしております。続いて、工作活動についてですが、ペットボトルアクアリウムなど、こちらはコーディネーターの方が企画をして、月に1回ほど実施をしております。最後に、地域交流といたしまして、白井市の中でボードゲームの普及に努めている、しろいdeあそ部という団体様にお越しいただきまして、月に1回ほど活動しております。

続いて、スタッフ数について説明をさせていただきます。スタッフ数が、コーディネーター1名、安全管理員3名、こちら、各回全員出勤している形になります。

最後に、その他の活動といたしまして、会議等を3回、実施している形となっております。

最後に、放課後子ども教室の推移について御覧いただければと思います。こちらにつきましては、4校、過去5年のもの、池の上小学校と白井第一小学校につきましては、開設当時のものを掲載させていただいております。令和2年度から、新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、参加人数ですとか参加率は減少していたのですが、令和5年度から、コロナも緩和されたということもありまして、

多くの児童に御参加いただきました。

ただ、白井第一小学校放課後子ども教室につきましては、定員30名に対して登録者数22名という形になりましたので、対象学年の拡充を検討する余地があるのかなと考えております。

最後に、どの教室についても共通しているところになりますが、実施に当たっては、子供たちの普段の学校での生活の様子や学校施設の借用などで、常に学校様のほうに御協力いただきながら運営をしております。説明は以上となります。

○委員長 ありがとうございます。それでは、委員の皆さんから御意見や御質問を頂戴して、お答えをいただければと思いますが、どなたか御質問はございませんか。随分多くの方に御協力をいただいているようなのですが、補足の説明はありますか。あらかじめお話をしておいた件で、補足説明がありましたらお願いします。

○事務局 学習アドバイザーの補足説明についてですが、先ほど会議の中でも少し説明をさせていただきましたが、こちら基本的には、地域の住民の方に御協力いただきながらも、市として包括連携を協定しております株式会社カスミ様ですとか、NECグリーンロケッツ様などに御協力いただきながら実施しております。

また、事業者委託のほうにつきましても、地域の方々に事業者様のほうからお声かけをいただいて、いろいろと御協力いただいた次第となっております。

また、白井第一小学校の千葉ジェッツさんに関しましては、ふだんから学童のほうで依頼をしております、放課後子ども教室のほうでも依頼できないかというところで、年度初めにお話を頂いて、年間通して御協力いただいたという形になっております。補足の説明は以上となります。

○委員長 ありがとうございます。今の各種アドバイザーのところ、大山口小学校のところは消防署と健康課職員と書いてあるのですが、ほかはどういう方がいらっしゃるのでしょうか。分かりますか。

○事務局 大山口小学校につきましては、今年度、学習アドバイザーとして依頼したのは、西白井消防署の職員の方と市の健康課職員の、二つだけになります。

ただ、大山口小学校につきましては、ふだん大山口小学校付近にお住まいの地域の方に、安全管理員さん、コーディネーターさん、お願いをしておりますので、そちらの方々が主となって、この工作活動ですとか、1年間を通してプログラムを実施したという形になります。

○委員長 例えば、紙飛行機づくりとありますけれども、ここはコーディネーターの方と安全管理員の方が全てをやってくださったということですね。

○事務局 はい、そのとおりです。

○委員長 分かりました。皆さんも、そういうことで了解ください。ほかには何かお気づきのところとか、疑問に思われるところはございませんか。どうぞ、お願いします。

○委員 何点か教えてほしいのですけれども、まず活動回数のところで、ほとんどが予定の活動回数というのが入って、それに対して、おおむね活動回数が満たされているような感じなのですけれども、予定と減ってしまった理由とかがあれば教えていただきたいのと。あと、ここ私のほうが聞き逃していたら申し訳ないのですけれども、学童の参加数。第一はさっき、今年、学童のほうは、8名が学童の子が参加しているということだったのですけれども、全体的な学童の子の参加割合的なものが分かれば、それを教えていただきたいです。

○委員長 説明をお願いします。

○事務局 ありがとうございます。まず活動回数の減少理由につきましては、こちら学校の例えば短縮日課ですとか、学校都合で減ったというところと、あとは活動の予定回数の中に県民の日を入れておまして、そちらもお休みという形になりましたので、祝日などを含めて回数が減ったという形になります。

あと、全体的な学童の割合についてです。白井第二小学校につきましては、学童に通所した児童は7名という形になります。大山口小学校につきましては、学童11名という形になりまして、ただ、年度途中で10名に、1名減少という形になります。池の上小学校につきましては、学童12名の通所があったことになります。白井第一小学校は8名という形になります。以上です。

○委員長 その方たちは、その後、学童のほうに行くという意味ではなくて、学童から参加した方たちという意味ですかね。

○事務局 放課後子ども教室の後に学童に参加するという形になります。

○委員長 そこは、どのぐらいの参加率なのかというような御質問を受けたと思うのですけれども、そうではないのですか。

○委員 学童の子は、どれくらい参加しているのかというのが知りたかったので、大丈夫です。

○委員長 数でよろしいですか。

○委員 はい。

○委員長 ありがとうございます。そのほかはいかがでしょう。池の上小学校のプレーアドバイザーというのは、どういうお立場で、どんな方が。簡単なところで教えてください。

○委員 ありがとうございます。プレーアドバイザーは、弊社のほうで複数人抱えている、いわゆるスポーツインストラクターみたいな職員になりまして、元サッカー選手ですとか、幼児体操教室を中心にやっていたものになります。

そのものが、特に池の上に関しては、体育館を中心に使うというところで、プレーアドバイザーを派遣して運動遊びをしているという形になります。

○委員長 ありがとうございます。その方は、職員の方ということですね。

○委員 そうです。

○委員長 ありがとうございます。ほか、いかがでしょうか。おはなしのたまてばことおはなしバスケットさんは別な団体なのでしょうか。

○委員 おはなしバスケットさんは、たしか駅前センターで活動してらっしゃる読み聞かせのグループさんだと思います。だから、第一小学校の学区ではないですけども、来ていただいているということですね。

○事務局 はい、そのとおりです。ありがとうございます。

○委員長 ほかにも幾つも団体がいらっしゃるのですかね。

○委員 そうですね。小学校は、ほぼ全部、読み聞かせのグループが入っていると思うんですけども、今、大山口小学校さんはなくなってしまいましたね。あとは8校入っていると思うのですが、第一小さんはありますか。

○事務局 第一小さんのほうが、恐らく、おはなしバスケットさんになるかなと。

○委員 分かりました。ありがとうございます。

○委員長 ありがとうございます。大山口小学校のほうですと、どこかは、またお願いしなくちゃいけないということになるという。

○委員 そうですね。読み聞かせの活動を学校でされているグループが今ないようなので、もし読み聞かせを取り入れるのであれば、ほかからですけれども、各センターで読み聞かせをやっている団体がありますよね。なので、そちらにお願いすることはできるかなと思います。

○委員長 分かりました。ありがとうございます。ほかの点で、いかがですかね。

○事務局 今の読み聞かせで、補足の説明で。

○委員長 どうぞ、お願いします。

○事務局 大山口小学校でも、基本的にコーディネーターの方々ですとか安全管理員さんが、市内の図書館で紙芝居を借りていただいて、読み聞かせのほうを実施させていただいております。補足の説明は以上となります。

○委員長 ありがとうございます。地域交流というのも大きな柱になっていますから、地域の方がたくさん来てくださって助けてくださったのは大変ありがたいなと思っておりますけれども、スポーツ面で、ラグビーとバスケットボールが出ておりましたけれども、池の上小学校以外の教室などではサッカーの希望は、後で御要望などのところで伺わなくちゃいけないのですが、開催するとなると、何か、つてはありますか。例えば、第二小学校でサッカー教室がやりたいというときに、どうしましょう。

○事務局 サッカー教室については、つてがないというのが正直なところですが、ただ、サッカー教室を開催するとなりましたら、職員でいろいろと調べさせていただいて、実現可能かどうかを検討させていただくような形になるかなと思います。

○委員長 現在委託している事業者さんから派遣していただくことは可能でしょうか。
第二小学校で。

○委員 可能だと思いますが、どうしても補償の問題がいろいろあるので、うちの職員が主導でそこを動かすということになると、そこにも責任が発生するので、例えば第二小であれば、学童のサッカー教室に御参加いただくということは可能だと思います。

○委員長 そういう可能性もあるということですね。もう少し幅を広げて活動の可能性があるということなのではないでしょうか。ありがとうございます。ほかの皆さんはよろしいですか。どうぞ、お願いします。

○委員 今のところに関連しまして、多分、前の会議なんかでも、地域人材の活用というのが意見で出ていたと思うのですが、この資料を見ると、安全管理員という部分で地域の皆様が参加してくれているのかなと思うのですけれども、コーディネーターとか学習アドバイザーという部分で、もうちょっと、今、委員長からもサッカーの話が一つ例として出ましたけれども、多分これぐらいの回数であれば、年間通してずっとということは、なかなか確保が難しいと思うのですけれども、そういった経験者だとかが結構市内にも、市民としていたりすると思うのですよね。その辺、行政と連携しないと、なかなかその人材の発掘って難しいと思うのですが、そういったコーディネーターとか学習アドバイザーの部分に市民を活用していくと、今後それを増やしていくというのは可能でしょうか。

○委員 ありがとうございます。可能だと思います。私自身も、今、少し見ながら思っていたのですけれども、例えば、委託を受けているのは、うちの事業者の独自で、そのプレーアドバイザーというのを中心に行っていますけれども、逆に言うと、池の上では、もうちょっと地域との交流があってもいいのかなというふうに思っていました。先ほど市のほうで包括連携協定を締結しているカスミさんとかグリーンロケッツさんとかも、こちらでも活用させていただけるのであれば、そういう機会を設けさせていただきたいなと思います。全体的に、できる、できないは別として、この学習アドバイザーがどういうことをやっているのか集めてみて、ほかの市内で、ほかのところでできるのかというのは検討していただけると、市としても活動の幅は広がるのではないかなと思います。

○委員長 どうぞ、お願いします。

○事務局 生涯学習課のほうでは、体育協会という団体も統括しているというか、補助のほうを出して活動支援をさせていただいています。そういった中で、今かなり退職なさって、日中帯お時間ある方なんかもいらっしゃいますので、そういったスポーツ団体にお声がけさせていただくということも生涯学習課のほうでは可能ですので、もしよろしければ、そういったスポーツ活動での人材ということであれば、生涯学習課のほうにも御相談いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

○委員長 ありがとうございます。ほかに御意見はございませんか。

順調に進んでいるとは思いますが、以前に比べると、随分活発にされてきているなと感じはいたしますが、子供たちの希望もだんだんと、こういう活動が周知されてくることで、希望者もまた増えてくるんじゃないかと思うのですよね。児童数は減っていても希望者の数は変わらないわけですから、実質的に増えているのかもしれませんが。こういう中で、例えば1年生と2年生というところから拡大できるかどうかというのが、これからの課題になるかと思うのですが、その辺でのほかの学年からの希望みたいなものは、今年度はどうでしたでしょうか。お分かりになる範囲で。

○事務局 ほかの学年からの希望ということなのですが、よく学校の先生たちからですとか、前に放課後子ども教室に参加していたお子様方から、お声かけいただくことはあります。また、放課後子ども総合プランの行動計画を策定させていただいたアンケートにも、低学年のお子様、2年生、3年生のお子様に参加したいという参加希望があるということでお答えいただいてもおりますので、対象学年の拡充が行えるように、スタッフの方と、あと民間事業者委託さんのほうと相談しながら、対象学年の拡充を検討していきたいと思っております。

○委員長 ありがとうございます。その対象ということですが、白井第二小学校では、4年生、5年生がいらっしゃいましたね。これ、御兄弟ということでしょうか。

○事務局 低学年に兄弟児がいるお子さんも参加しています。

○委員長 そうすると、ほかの学年、4年生、5年生も入れてやったことで、何かいいことってあったのかなと思うのですが、何か掴んでいますでしょうか。

○事務局 1年間を通してなののですが、白井第二小学校の、そもそも児童数も100

名以下というところで、異学年交流というのを盛んに行っている小学校ということもございまして、実際の放課後子ども教室の運営でも、例えば2月に、マカロニでできる粉づくりということも行いましたが、この際には、火を使ったものもあったのですけれども、5年生が中心に活動したりですとか、そういったところで意義のある活動だったかなと思っております。

○委員長 ありがとうございます。まさに今おっしゃっていただいたとおりだと思うのですけれども、異学年集団といいますか、大きい子から小さい子までいて、そういう集団での学びみたいなのがあったのですが、なかなかそういうものが取れないということであれば、こういうような形で、上級生が下級生を見ていくというような形がほかのところでも取れると、変わってきていいんじゃないかなというふうに感想を持ちました。すみません、感想でした、これは。

○委員 今のことに関連して、第二小学校で2回、アドバイザーとして参加させていただいたのですけれども、私たちが読み聞かせの後に、1回は巨大オセロというのをやり、もう一回は、靴下入れという活動をやったのですけれども、そういうときに高学年の子たちがタイマー係をしてくれたり、数えるのを率先してやってくれたり、小さい子たちをリードしてくれたりという姿が見られました。ありがたいことに、第二小学校は人数が少ないこともあって、募集枠が全学年対象なので、そういう体験を5年生、6年生になってもできるのかなというところなのですけれども。

あと、最後に、お礼の会に参加させていただきましたが、そのときも2グループに分かれて、クイズのチームとゲームのチームだったのですけれども、やっぱり大きい子たちが中心になってまとめたりして、楽しくやってくれましたので、校長先生もそこに参加されたのですけれども、あの子たちだけでも企画してできるかもしれないねというようなお話があるぐらい成長を感じられましたし、5年生の女の子なのですけれども、1年生のときから、放課後こども教室、なかよし教室に参加していて、私は6年までずっとやるよとすごく張り切っているの、続いている子と、あと全学年対象で募集していただけることがありがたいことだなと感じました。

○委員長 ありがとうございます。二小ならではののでしょうかね。二小だからできる、ほかはできないということではなく、また拡大していく方向で頑張ってもらえば、頑張ってくださいと言うのは変ですけれども、やっていければというふうに感じました。ありがとうございます。ほかにはよろしいでしょうかね。それで

は、一つはお金の面なのですが、大体1,000円程度と書いてありますが、これで足りていますか。あるいは、1,000円しかないから、これ以上やれないというような活動制限がかかっているのかどうかみたいなことをお調べいただいたと思うのですが、どうでしょうか。

○事務局 ありがとうございます。各教室の参加者の負担金についてなのですが、まず、保険代が800円、その他材料費が200円から300円程度というところで、参加負担の実費が1人当たり1,000円程度という形になっています。

こちら、教室を運営するに当たりましては、市のほうで予算を組んでおりまして、消耗品代ですとか、人件費ですとか、そちらのほうは見ております。

また、もちろんこちらで1,000円程度の参加者の負担金で賄えるように、いろいろとプログラムを企画しているところでして、制限とかも特に設けず実施できているかなと思っております。

また、これ以上負担金が増えるという形になりますと、貧困家庭のお子様ですとか、そういった方が気軽に参加できないかもしれないということも危惧されますので、今後もこのような形で、大体年間1,000円程度でできるように努めてまいりたいと思っております。以上になります。

○委員長 ありがとうございます。では、そういう形で今後も続けていただけるという。保険が800円って今おっしゃいましたか。

○事務局 はい、保険800円になります。

○委員長 高いような気がするのですが、そうでもないのですか。どうなのですか。

○委員 年間ですよ。

○事務局 年間で800円になります。

○委員長 これは標準的なのですかね、年間800円というのは。すみません、よく知らなかったものですから、ありがとうございます。それと、続けて申し訳ありませんが、各教室の成果と課題、あるいは利用者の声みたいなものがお分かりでしたら、お願いします。

○事務局 各子ども教室の利用者の声というところで、事業が全て終了しまして、今アンケートのほうをそれぞれの学校で実施する予定となっております。ふだん、先ほどのほうからもお話がありましており、白井第二小学校のほうは、うれしくも6年生まで参加したいというようなお声を頂きますし、大山口小学校のほうでも、2年生になっても参加したかったというようなお声も頂くところです。白井第一小学校、池の上小学校につきましても、そのようなお言葉を頂いているというふうにお伺いしております。以上となります。

○委員長 ありがとうございます。これから結果がまた出てきましたら、何らかの形で委員の皆さんにお知らせいただければと思います。よろしくお願いします。では、今年度の活動についての御報告、これでよろしいですかね。あるいは、一言ずつお伺いいたします。

○委員 今年度の活動は、すごくいろんなことをやってきて、多分、参加している子供は楽しく過ごしているんじゃないかなという印象です。定員30名に対して、どの学校も少ないのが残念というか、来年の予定を見ると、対象学年をもうちょっと増やして検討中というのもあるので、もっと増えたらいいのかなと思います。

○委員長 ありがとうございます。では、続いて、お願いいたします。

○委員 感想みたいな感じになるのですけれども、御報告いただいた、随分いろいろな活動の内容になっているなということで、すごく楽しそうだなと感じました。

特に目についたのが、来迎寺さんの住職さんの座禅教室でして、私どもはウォーキングクラブやっているのですけれども、年に1回、来迎寺さんのところで、しろい七福神の全体を回って、1日で回るのですけれども、かなりの距離なのですけれども、大体そのとき来迎寺さんのところが途中で、その住職さんにお話をいただく時間を頂いているのですね。非常にお話も面白いし、この方の存在というのは、白井市でもかなり大きいのではないかなと我々も思うのですけれども、こういった活動を、ぜひ全体にまた広めていっていただければうれしいなと思った次第です。ありがとうございました。

○委員長 ありがとうございます。では、続いて、お願いいたします。

○委員 まず、いろいろ何年も、時間かかりながらですけれども、徐々に進んできているというところがすごくうれしいなと思います。本当にありがとうございます。

資料に関して、参加率のグラフがあると見やすかったかなと思いました。これは資料に対する感想です。何となく見ていると、学期末とか年度末に向けて、ちょっと数字が減ってきているところが一瞬あるような感じもしていて。

あと、第二小学校の2月8日の出席率があまりよくないのは、感染症の影響なのかは分からないのですけれども、そこをグラフにすると、季節でとか、何か時期的にとか、分かるところも出てくるのかなと私は思いました。

あと、すごいたくさんイベントあって、本当にありがたいと思うのですが、1回目より2回目のほうがうまくいくということも子供たちあると思うので、2回イベントあったものが、大山口のプラ板キーホルダーとかも2回あるのですが、けれども、どっちもやっぱり出席率がとても高いので、むしろ2回目のほうが、数字的に人数は上がってはいるので、2回あるというのもちょっといいのかなというのは、見て思った感想です。

あと、昔遊びとか、やっぱり私たち大人は思いがちなのですけれども、この竹とんぼづくり、第二小がちょっと低かったので、子供たちはあんまり興味ないのかとか、そこら辺を丁寧に見て、どうやって魅力を伝えていくのかは私たちが考えることなのかなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。事務局よりなにかありますか。

○事務局 2月8日の白井第二小学校の竹とんぼづくりについてなのですが、こちらは感染症の影響がありまして、それで参加者数が減少したという形になっております。補足の説明は以上となります。

○委員長 この川邊様は、大山口小学校の安全管理員の方ですか。

○事務局 そうです。

○委員長 ありがとうございます。では、続いてお願いします。

○委員 二つお聞きしたいと思います。一つは、この参加している子供たち、それから、参加させている親御さん、保護者の方、その辺りの感想というか、満足度というか、その辺りは何かで示せるようなものは取っているのかどうかということをお聞きしたいのと、参加率で、結構高い参加率がどの学校も出ているので、それも一つの目安かなとは思って見ていましたが、ほかにあれば教えてください。

もう一つが、結構、運動する機会も多いようなのですけれども、その中で子供

たちのけがとか、そういったようなことはなかったのか。もしあったとしたら、そのときの対応とかは、どんなふうにしたのかという辺りは、お聞きできればと思います。

○委員長 ありがとうございます。では、お答えいただけますか。

○事務局 まず、一つ目の御質問を頂いた参加したお子様と保護者の満足度ですとか、参加者の声というところで、こちらにつきましては、全ての事業が終了して、これからアンケートを実施するという形になります。

ただ、先ほど説明したとおり、参加した子からも、また来年度も参加したいというお声を頂いたりですとか、あと、保護者の方からも、来年度どうやって参加できますかというような問い合わせも、生涯学習課のほうであったりとかしますので、そういった意味でリピーターも多いのかなと考えております。

また、二つ目のけがについてなのですけれども、今年度につきましては、スタッフの方々に安全にご配慮をしていただいたところもありまして、大きなけがはありませんでした。

また、もしも大きなけがになりましたら、学校のほうとも連携をさせていただいて、救急車の手配ですとか、そういったところをやっていくというような形になっております。以上です。

○委員長 ありがとうございます。では、続いてお願いします。

○委員 自分がいつも中学生見ていて思っているのですけれども、今の子どもたちって、ゲーム、SNSの影響ってすごい大きいなと思っているのです。あれがいろいろ悪影響もあるんじゃないかなと思っている。無理だと思うのですけれども、こういう活動がもっとたくさん、小学校低学年のうちから、日にちももう少しあったりとか、定員も増えたりすると、歯止めになるかなと常々思っています。なかなか大変だと思うのですけれども。

○委員長 ありがとうございます。参加率のばらつきもあるようではございますけれども、先ほど第二小の竹とんぼが47%でしたっけ。大山口の竹とんぼが100%ですよ。コマづくりもそうですけれども。こういうもの、学校差ということはないと思うのですけれども、宣伝もあるかなと思いますが、こういうのやるよということもあるかと思いますが。

○事務局 委員長、よろしいでしょうか。

○委員長 どうぞ、お願いします。

○事務局 御指摘頂いた部分で、出席率、学級参加率が下がってしまったのは、やはりインフルエンザなどが大きく影響しております。直接的なデータを取るのはいくらからなので、体感的なお話で恐縮なのですが、子供たちは現場で何か面白かった、つまらなかったという結果としての反応としては、もちろんあるのですが、えり好みをして参加をしないということは、現場では感じていないところです。以上になります。

○委員長 そうすると、そういう外的な影響があったということですね。ありがとうございます。事業者委託のところでは、けがをするみたいなことがありましたか。

○委員 僕のほうまで報告を受けているような大きなけがはなかったと思いますので、その意味では大丈夫だと思いますけれども、小さなけがは、きっとあるんだと思うので、そのときには、子ども教室の場合は、活動場所が一時的にお借りしているので、最初のときに学童と連携をして、救急グッズとかを必ず持ち歩くようにしているので、そういう意味では大丈夫かなと思っています。

○委員長 ありがとうございます。ほかには、よろしいでしょうか。

○委員 事務的な面ですけれども、お休みをするときの連絡は、生涯学習課にすることは徹底されていますよね。学校のほうに、今日、なかよし教室お休みしますという電話が入ったりして、スクールバスも使っているので、下校のときに乗る、乗らないとかという混乱になったりしたこともあったので、また新年度説明会のときに、徹底してお話ししていただけるとありがたいかなと思いました。

○事務局 保護者説明会を毎年1回、必ず開催しておりますので、こちらのほうで、まず保護者全員に、必ず生涯学習課に連絡するよう伝えております。

また、募集をかける際にも、学校の授業ではなくて生涯学習課の事業ですというところで明記をさせていただいております。あと、毎回マチコミメールというソフトみたいなものを使っているのですが、こちらのほうでも、必ず生涯学習課に連絡するよう周知をさせていただいています。ただ、それでも漏れてしまう部分もあるので、学校には御迷惑をおかけして申し訳ございません。

○委員長 分かりました。では、徹底してやっていくということで、また保護者の方にも、新年度しっかり御連絡いただければと思います。ありがとうございます。

○委員長 それでは、次に議題2「令和6年度事業計画」について事務局より説明をお願いします。

○事務局 議題2、令和6年度事業計画について説明させていただきます。来年度の実施予定の4校と、開設校について説明をさせていただきます。資料は、議題2資料、令和6年度事業計画のみを使用させていただきます。ページめくっていただきまして、白井第二小学校のものが書いてあるのですが、事業目的につきましては、ほかの学校も一緒ですので、こちらのほうでまとめて説明をさせていただきます。

こちら、事業目的につきましては、放課後の時間を活用して、地域協力者の参画を得ながら、安全に様々な体験や活動が行える機会をその学校で実質提供するものとなっております。

続きまして、白井第二小学校の事業計画について説明をさせていただきます。白井第二小学校につきましては、来年度も今年度と同様に、市の直営、地域協力者と市の協働で実施をさせていただこうと考えております。

実施予定日時につきましては、毎週木曜日、下校後から午後4時半、開催時期は6月頃を予定しております。

なお、短縮日課ですとか夏休みなどの長期休暇は、原則として休止をさせていただきます。ですので、活動予定回数は35回と予定しております。

続いて、活動内容についてですが、こちらも今年度と同様に、来年度も子供たちに様々な体験が行えるプログラムから提供できますように、コーディネーターの方と中心にプログラムを企画させていただいて、工作活動、文化活動、スポーツ活動、地域交流活動などを実施させていただく予定でおります。

プログラムの企画につきましては、4月以降のコーディネーター会議のほうで決めさせていただこうと考えております。

活動場所につきましては、白井第二小学校の体育館、図書室などの特別教室を予定しております。

対象学年につきましては、全学年予定しておりまして、予定定員は30名で考えております。参加者の負担金につきましては、保険料800円とプログラムの企画によって材料費を集金しますので、総額でおよそ1,000円程度を予定しております。

続きまして、大山口小学校の事業計画について説明させていただきます。こちら、運営方法につきましては、白井第二小学校と同様で、市と地域協力者からの協働で実施をさせていただこうと考えております。

こちらの活動開始時期は6月を予定しておりまして、原則、第2、第4木曜日、

下校後から午後 4 時半頃までを予定しております。

なお、こちらも短縮日課ですとか夏休みの長期休暇は休業をする予定ですので、こちらの活動予定回数は20回を予定しています。

こちら、活動内容につきましては、今年度からプログラムに変更したところもありますので、来年度も引き続き、プログラムをコーディネーターの方を中心に企画をさせていただいて、工作活動、文化活動、スポーツ活動、地域交流活動が実施できるように検討していきたいと思っております。

また、主な活動場所につきましては、大山口小学校の体育館ですとか図工室などで予定をしております。

続いて、対象学年につきましては、今のところ 1 年生で考えておりまして、予定定員は30名を考えております。

なお、1 年生のみの募集で参加者が定員に満たない場合は、2 年生に追加募集を行うことも検討しております。

続いて、参加者の負担金についてですが、こちらも保険料と材料費の総額1,000円を予定しております。

続いて、池の上小学校の放課後子ども教室について説明させていただきます。こちらは、今年度と同様に、事業者へ運営を委託して実施する予定です。

実施予定日時は、毎週木曜日、下校後から午後 4 時20分までの予定となっております。活動予定回数は、白井第二小学校と同様、35回。活動内容も、工作活動、文化活動、スポーツ活動、地域交流活動を予定しております。

また、こちらにつきましては、どの活動も必ず実施ができるように、契約の仕様書内などで、年間最低 1 回以上は実施するよう明記をさせていただきました。

続いて、活動場所につきましては、池の上小学校の体育館ですとか図工室などの特別教室を予定しております。

こちらの対象学年は、1、2 年生としておりますが、大山口小学校と同様に、初めは 1 年生のみに募集をさせていただいて、予定定員の30名に満たない場合は、2 年生に再度募集をかけるという形で考えております。

最後に、参加者の負担金についてなのですが、こちらもほかの学校と同様に、年間1,000円程度を予定しております。

続いて、白井第一小学校になります。運営方法は、池の上小学校と同様、事業者による運営委託を考えております。

実施予定日時につきましては、毎週木曜日の下校後から 4 時20分までを考えておりまして、こちらもほかの学校と同様に、6 月開催を予定しております。

活動予定回数につきましては、白井第二小学校、池の上小学校と同様、35回を

予定しております。活動内容につきましても、ほかの学校と同様に、工作、文化活動、スポーツ活動、地域交流活動が行えるように、こちらも池の上小学校と同様、仕様書内に明記をさせていただきました。

続いて、活動場所につきましては、白井第一小学校の体育館と図工室などの特別教室を予定しております。続きまして、対象学年につきましては、今年度と同様に、1年生から3年生で予定定員は30名で考えておりますが、こちらは先ほどの実績を見るに、参加者が1年生から3年生で22名ということもありましたので、もう少し対象学年の拡充ができないかということで、学校と事業者さんと、これから協議を重ねていこうと考えております。

最後に、参加費の負担金につきましては、ほかの学校と同様に、1,000円程度を予定しております。

なお、既存実施校の予定につきましては、こちらは今年度を基に作成をさせていただきましたが、4月以降に、スタッフの方ですとか事業者の方、あと学校と打合せする中で変更のある可能性がありますので、あらかじめ御了承ください。

また、事業所の選定につきましては、4月に一般競争入札を行い決定となりますので、現在のところは未定となっております。

○委員長　そこまで、一旦切りましょうか。今までやってきてくださった学校の来年度の予定ということで、何か御質問とか御意見がございますかね。これ、木曜日というのは、今年度も変わらずやるということですね。

○事務局　はい。

○委員長　多分、木曜日になるだろうと。どうぞ、お願いいたします。

○委員　毎回の質問に出てくるところで、回答はもうされている可能性は高いのですが、市直営、地域協力者と市ということで、事業者への運営委託の二つに分かれていると思うのですが、それぞれのメリット、デメリット、もちろんあると思うのですが、大きな違い、それから、その中でのメリット、デメリット、それぞれお話いただけないでしょうかというのが一つと。

対象学年ですね。白井第二小は全学年30名、その他、大山口さんは1年生30名、ということで、それぞれの対象学年がばらばらになっているのですが、当然、低学年用、中学年用、高学年用によって、運営の中身についてはターゲットが違ってくると思うので、内容が変わってくると思うのですが、このメリッ

ト、デメリットですね。ほぼ予測はできるのですが、それぞれ整理をいただいて、説明いただけるとありがたいかな。

○事務局 ありがとうございます。まず、運営方法の地域協力者と事業者委託のメリット、デメリットというところになるのですが、まず市の直営の部分につきましては、地域で、ふだんお住まいの方が御協力いただいているというところもありまして、そういった意味で地域交流が盛んに行えるかなと思っております。

また、先ほどの学習アドバイザーのところでもありましたが、コーディネーターの方ですとか安全管理員さんの方が、地域の方に声をかけて、学習アドバイザーとして呼んでくださるということもありますので、そういった意味で、地域交流が頻繁に行われるのがメリットなのかなと思っております。

ただ、デメリットにつきましては、なかなか人材の雇用というところが難しいというところもありまして、ボランティアでの活動というところもございますので、なかなか人材を見つけるのに苦慮しているというところがデメリットになるかなと思っております。

続いて、事業者委託のほうでのメリットといたしましては、ほかの自治体でも子ども教室を運営している事業者さんをお願いをしているというところもありまして、そういった意味でノウハウがしっかりされている。また、子供たちがどうやって楽しめるかというのを、直営のほうももちろん考えてはいるのですが、よりプロフェッショナルな、プロ目線で考えていただいているというところがメリットとして挙げられるかなと思っております。

ただ、デメリットといたしましては、先ほど少し委員からも、今後も地域に根差した運営をということで、お話をいただいたところではございますが、そういった意味で、なかなか地域とつながるというのが難しいのかなと考えております。ただ、こちらにつきましては、市の職員も含めて協力できればなと思っておりますので、最終的に、こちら全校を民間委託でということも考えていますけれども、その頃には、地域に根差した子ども教室ができるように努めてまいりたいと思っております。

続いて、対象学年のターゲットというのは、ごめんなさい、こちら聞き返してしまつて申し訳ないのですが、プログラムの内容がということですか。

○委員 そうですね。基本的には、それぞれのターゲットの生徒さんによって、プログラムの内容が変わってくるということだと思うので、全学年にしているところと、1年生のみにしているところとは、内容が違うということは、当然、理解できるの

ですけれども、全学年で同じように30名ですよ。なので、全学年になると、平たく言えば、1年から6年生、30名、それぞれの学年でいうと、ちょっと少なくなってくるのかなという。平均見ると、そんな感じがするし、1年生だけで30名だと、かなり1年生に分厚くやれるから、それでなのかな、こう考えたりしたのですけれども。それぞれのメリット、デメリットというのは、幅広く1年生から6年生を募集するメリット、デメリット、それから1年生だけに限定する内容、内容だけではなくて、その対象人員をそこになぜ拘束するのかとか、なぜ広くするのだとか、それについてのメリット、デメリットとか、それを教えていただければと。

○事務局 分かりました。ありがとうございます。まず全学年でのとこの、基本的に放課後子ども教室事業は、全児童に提供したいという思いもありますので、可能な限り、対象学年を拡充できればというところで考えております。

ただ、学校の規模ですとか、そういったところで、低学年のみという募集の学校もあるというのも事実としてなっております。

そこで、全学年の対象を広げた際のメリット、デメリットですが、まずメリットといたしましては、先ほど少し第二小学校のほうの事例の中で説明をさせていただきましたが、やはり異学年交流ができるというところで。その中で、運営の中でも子供たちにも協力いただける面ですとか、そういったところがメリットかなと思っております。

ただ一方で、デメリットといたしましては、今、白井第二小学校のコーディネーターさんの多くが学校に勤められていたという経験もありまして、うまく運営できているかなと思うのですけれども、それぞれ学年が替わるごとに児童との対応の仕方も変わってくるかなと思います。そこが地域の方にどれだけ負担が行ってしまうものかというところが、一番デメリットに感じているところかなと思っております。

また、学年を絞ったメリット、デメリットというところで、メリットといたしましては、先ほどの全学年のところと反対にはなるのですけれども、地域の方に、1年生のみということですので、児童への対応の仕方とかが同一なところ。もちろんその子、その子に併せた関わり方が必要だというベースのところは一緒になるのかなと思っております、個々の成長でいろいろ変わってくるところはあるかなと思いますので、その部分は、地域の方と市の職員が相談しながら、いろいろと関わっていければなと思っております。

一方で、デメリットといたしましては、1年生のみの事業ですので、例えばはさみを使わせるのが少し怖いですとか、そういったところで、事前の準備というところに時間を要するかなと思っております。

○委員 ありがとうございます。

○委員長 ありがとうございます。ほかはよろしいでしょうかね。

白井第二のほうは、全体が90数名ですから、3割ぐらい募集する。ほかは1割も満たないということで、確かにバランスが悪いとは思いますが、こちらで1回に対応できる人数というのが、そんなにたくさんは無理だということで、すし、教室の大きさもあるでしょうから、30名ということで切られているのだと思いますが。来年度、1年生はかなり減りますか。

○事務局 ごめんなさい、生涯学習課では正確な情報は持っておりませんが、そこまで大幅に変更はないのかなと思っております。

○委員長 第二小学校というのは、将来的には併合されちゃうのですかね。

○事務局 特に第二小学校を統合しようという計画はございませんので、今後も小規模特認校という形で継続していくということで認識しております。

○委員長 学区は多少、学区域を変えて、二小のほうにもうちょっと増やして、ほかをもうちょっと緩和を図れるみたいなこともない。

○事務局 今、第二小学校って、特に学区外からも自由に通えるようになっておりますので、学区を特に何かをしなければ第二小学校に通えないとか、そういうことはないので、今のところ、そういった学区の変更というのを考えているということはありません。

○委員 計画は今、手元に持ってきていなくて、たしか方針としては、まずはやれる学校を増やして行って、だんだんそういったところから人数を集めながら、将来どまだ先の話にはなってくるとは思うのですが、事業報告のほうで、安全管理員さんとか、結構な人数を事業者さんのほうで集めて、皆さん、地域の方もそうですし、委託事業者さんのほうもそうですし、結構集めてやってくださっているのだなという印象を持ったのですが、当然、場所の問題、お金の問題というのは、拡充すると出てくるとは思うのですが、そこはおいといて、人材的なものとして30名を増やしていくというのは、可能性として、実際にその辺というのは十分やっていけるかなというのは。結構事業に参加してくれたりとか、

その辺の手ごたえ的なところって、どうでしょうか。もしもお聞きできれば。

○委員長　お願いします。

○委員　ありがとうございます。子ども教室を担っている職員は、ほとんどが学童の職員を兼任している職員で。非常勤で、例えば週3とかで勤務をしているうちの1日を子ども教室に充ててくれたりとかしている職員で賄っていると言うのは失礼ですけれども、専門的にも経験があるので、そういったものを採用しているのですけれども。やはり雇用という面では、週に1回のおよそ2時間とか2時間半ぐらいの雇用になるので、正直すごく難しいところはあるのかなと。なので、ちょっとまた話が変わってしまうかもしれないのですけれども、今回、一般競争入札で、子ども教室だけを公募に出されたということなので、この週に1回の2時間とか3時間の人を雇用する仕事ということになるわけです。とても難しくなってくるんじゃないかなと。一方で、多分、前回とか前々回は一体型で進めていくということで、その子ども教室と学童を同じ事業者でやれば、もっとうまくいくんじゃないかって話があって、そういう方向に進んでいるのかなと思ったら、今回、子ども教室だけが競争入札という形で出た。いろいろな御事情があるとは思いますが、子ども教室だけを競争入札という形では難しくなってきたなというふうには考えています。

○委員長　そうだったんですか。

○事務局　来年度の事業者選定に当たっては、一般の競争入札という形を取らせていただきます。この理由としましては、基本的に自治体が契約するに当たっては、価格競争が原則になってきます。今、委員のほうからもお話があったと思うのですけれども、週1回で2時間程度の人員を確保していくというのは、非常に難しいというような御意見頂きました。確かにそのとおりだと思います。ただ、今、学童保育のほうで長期継続契約という契約で、既に複数年の契約を結んで進んでいるところですので、今後、我々のほうの放課後子ども教室については、取りあえず単年度で契約をしていきますが、時期が来ましたら、学童保育の発注と放課後子ども教室の発注を一体で発注していくというようなことでやっていければ、今の課題はクリアされていくのかなと思っていますので、今後、また福祉部局のほうと連携取りながら、発注の形態については検討をしていかなければならないかなとは考えております。以上です。

○委員長 ただ、募集としては、今は違うけれども、発注の段階では同じようなことになるということでしょうか。

○事務局 来年度の募集に当たっては、どうしても既に学童のほうは契約が決まっている中での話になるので、その1社に随意契約という形で行うには、それなりの理由がどうしても必要になってくるのですが、まずは価格競争を前提に入札のほうを実施させていただきたいと考えていますので、来年度については、別々の契約という形は取らざるを得ないかなと思っています。

ただ、何年か進んでいく中で、その学童保育の複数年契約がちょうど切れるタイミングで新たに事業所を募集するよということになりましたら、そこは一体で発注するというものも考えられるかなというところです。

○委員長 分かりました。ありがとうございます。ほか、何かございますか。

あとは、お金は必要なのですが、今年度並みの予算は確保してあるということですね。今年度、赤字になったりはしていないのでしょうか。特に人件費のこと等もあるし、交通費などもあるのでしょうけれども。

○事務局 特に赤字ということはないです。

○委員長 学童のほうから何か材料とか資材を持ち出すということになっているのかな。そうしないと賄えない。

○委員 基本的には、子ども教室は子ども教室として予算は頂いているので、その中でやりくりはできているので、そこは問題ないと考えていますので。

○委員長 ボールを使うにしても、そのボールは学童のボールは使わなくても済む。

○委員 もちろん共有できるものは、その場だけで購入することもないので、共有することはあるとは思いますが。

ただ、うちのプレーアドバイザーの場合は、プレーアドバイザーが自分たちで機材を持っているので、多分、外部の方もきっとそうだと思うのですが、お持ちになっている機材を使用して活動されるということになると思います。

○委員長 じゃあ、大丈夫ということですね。

○委員 はい、大丈夫です。

○委員長 ありがとうございます。何か御意見ありませんかね。

活動内容が、例えば小学校が幾つかあったときに、回って歩くと大変ですけれども、しろいdeあそ部では、そんなのありましたね。

○事務局 はい。

○委員長 団体さんは、2か所ぐらいでなさっているように聞いたのですが、これは交流ということなのでしょうけれども、例えばバスケットさんがほかに行くとか、そういうようなことは推奨されるでしょうか。

○事務局 例えば第一小学校で活動している団体様が、第二小学校のほうで御協力いただけるかということですか。

○委員長 はい。

○事務局 それは、プログラムの内容ですとか、そういったところで交渉次第なのかなというふうに思うのですけれども。ただ、おはなしバスケットさんに関しましては、基本的にはやっぱり白井第一小学校といいますか、白井駅前の地区で活動されている団体様でして、白井第二小学校のほうにつきましては、おはなしのたまてばこさんに御協力いただきたりしますので、そちらのほうでお願いをするような形になるのかなと思います。

○委員長 そうすると、大山口小学校ではなかったのでしたっけ。そうすると、そこは、やりたいとなったら、自分で探す。

○事務局 こちらのほうで探すのかなというところ。ただ、先ほど説明したとおり、コーディネーターさんのほうが自分で紙芝居を借りてきていただいて、毎回読み聞かせのほうをやってくださっていたりとかもするので、そういった意味でできているのかなと思っています。

○委員長 地域の方がたくさん参加してくださって、地域全体で子供たちを育てていくという方向が狙っているところだと思いますので、ぜひ人材の確保、それから予算的な手当というのをしていただきたいなと思っていますけれども。

○委員 応募を検討しております。

○委員長 分かりました。ありがとうございます。それでは、大体6月開始予定と皆さんなっています。ちょっとでも早くなることって可能ですか。もうちょっと早くすること。

○事務局 こちらにつきましては、基本的に6月開催が一番早い時期になるかなと思っております。理由といたしましては、直営の場合は4月に、先ほど少し触れましたが、スタッフ会議ということで、コーディネーターの方ですとか安全管理員さんの方に協力いただいて、プログラムの企画ですとか、1年間どうやって運営していこうというような会議を4月頃に開催予定です。また、5月に実行委員会というものを予定しておりまして、こちらは学校関係者と職員の方ですとか、あとは学童保育所の関係者の方ですとか、そういった方々にお越いただきまして、1年間こういう形で子ども教室をやっていきますという説明をその実行委員会でする予定です。なので、直営に関しましては、まず6月頃が一番早い時期になるかなと思います。

また、民間の事業者委託のほうにつきましても、委託契約の期間が4月過ぎからという予定になっております。なので、スタッフの雇用ですとか、あとは、その活動に係る商品の購入ですとか、そういったところで一番早い時期が6月になるかなというところで、なので、一斉で6月ということで予定しております。

○委員長 分かりました。よろしくお願いします。よろしいですかね。ほかには何かありませんか。新設の桜台小学校の計画について御説明ください。お願いします。

○事務局 では、新規開設校について説明させていただきます。資料は最後のページとなります。

こちらは、前回の会議でもお伝えさせていただいたとおり、桜台小学校で令和6年度の開設を予定しております。事業目的といたしましては、放課後の時間を活用して、地域協力者の参画を得ながら、安全に様々な体験や活動を行える機会を桜台小学校の児童に提供するために実施をします。運営方法につきましては、池の上小学校、白井第一小学校と同様に、事業者運営委託という形で考えております。実施予定時期につきましては、毎週木曜日の下校後から午後4時まで、こちらは6月開催の予定にしております。ですので、ほかの学校と同様に、活動予定回数は35回となっております。活動内容につきましても、工作、文化活動、スポーツ活動、地域交流活動、こちらの四つを考えております。

こちらも池の上小学校、白井第一小学校と同様に、必ず年間1回は行うようにということで、仕様書内で記載させていただいております。

また、活動場所につきましては、桜台小学校体育館ですとか図工室のほうで運営を予定しております。

続いて、対象学年のほうは未定と記載させていただいております。今後、こちら学校と事業者さんのほうに協議の上、決定をする予定となっております。

ただ、予定といたしましては、学校の希望数が池の上小学校とほぼ同じぐらいという形になっておりますので、1、2年生が対象になるのかなと個人的には予想しております。続きまして、予定定員は30名、参加費の負担は、保険料800円、その他材料費というところで200円から300円程度というところで、年間1,000円程度の予定しております。説明は以上となります。

○委員長 ありがとうございます。何か御質問はございますか。そうすると、これが委託する三つ目ですね。

○事務局 はい、三つです。

○委員長 この三つの間での連絡会というか、合同会議のようなものを計画はされていらっしゃるんですよね。

○事務局 基本的にこの3校、全て同じ事業者さんをお願いをしようと思っておりますので、一律で、そこは対応できれば。

○委員長 今年は別でしたよ。

○事務局 ただ、来年度は一般競争入札というところで、3校全部まとめてというところになりますので。

○委員長 それは何かわけがあるのですか。今まで、今年度なさってくださった方が、やらないということもあるわけですね。既に二つあるわけですから、一つなんてことは、例えば両方手を挙げたときに、どちらかは、来年度はなさらないということになる。

○事務局 一般競争入札ということになりますので、こちらは価格での競争になります。ですので、どちらかが落ちるという言い方にはなると思うのですけれども。価

格競争で1者を決めさせていただきたいと考えております。

○委員長 そうすると、打合せは必要ないのかと。業者の方自体の打ち合せが要るかもしれませんが、コーディネーターの方とか打ち合せはあると思うのですけれども。

○委員 もちろん手を挙げさせていただくのは、事業者としては挙げることを検討しております。あと、この三つが同じ業者になるということは、学童と運営する事業者とは別の事業者になる可能性があるので、その連携が、別事業者になると、うまく取っていかないといけなくなってくるのかなと。これまでは、要は学童のうちの職員が、その時間帯とか、その日だけ子ども教室に勤務することが可能だったのですけれども、それも事業者が代わるということは、もし副業するとして、うちの職員が学童の勤務を1回退勤して、別の事業者の雇用として、またそこで2時間ぐらい働いてみたいなことになってくると思うので。その辺は、どうしても事業者間で、もちろん連携を図っていこうと思うのですけれども、同業だということもあるので、ぜひ市のほうでも連携を保っていただけるように、会議を開催していただいたりすると、子供たちへの影響は少ないのかなと思うので、お願いしたいと思います。

○委員長 ぜひお願いします。ほかにはどうでしょうか。どうぞ、お願いします。

○委員 まず事業委託ということと市の直営ということで、全て基本的には、これから事業者委託へ行くということの予定というのを聞いております。大変同感であります。市民としては、やはり地域住民との交流ですね。児童、学童さんと、老人が非常に増えてきた白井市ですから、じじばばといろいろな会話ができるような場が、より持てればいいなという我々の感じなののですけれども、やはり住民との交流ですね。これ入札の要項の中に、多分いろいろな条件を書かれて、その条件に合う方が経済的にも計算をして、このぐらいの活動だったら、このぐらいというような感じで回答されると思うので。逆に言うと、入札要項の中に、地域の活動者が全体の、例えば学習の教室の3分の1程度は、地域の方々との交流の持てるような教室をつくりなさいとか、そういうふうに指導要綱の中に、一つの市としての指針を出していただけると、それに従って事業者のほうも、地域活動をやっている人たちとの接点を、よりそこに組み入れていこうという意欲が出てくるのだと思うのです。ですから、そこら辺の指針を出していくのは市のほうの使命だと私は思いますので、ぜひそこを重点的に考えていただいて、指導要綱などを定めていっていただきたいなと考えておりますが、いかがでしょうか。

○委員長 ありがとうございます。何かお答えがありましたら。

○事務局 御意見ありがとうございます。今回、この委員の中に入札に関係する方もいらっしゃると思いますので、なかなか入れていきますよとか、入れていきませんよと、ここでお答えするのは難しいのですが、御意見として参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

○委員長 よろしく願いいたします。ほかにはいかがでしょうか。あと、御了解いただいたということで、この先の見通しをもうちょっと確認しておきましようか。来年度以降はどうしていくか、決まってはいるのですけれども、もう一度確認が要りますか。

○事務局 ありがとうございます。まず放課後子ども教室事業につきましては、令和11年度末までに全ての小学校で開催できるよう、整備を進めていけるところになっております。令和6年度は桜台小学校で予定しておりまして、令和7年度も1校開設できるように、こちら学校側と協議をしながら進めていきたいなというふうに考えております。また、今、直営で実施している2校につきましても、令和9年度に民間委託ができるよう努めてまいろうと思っております。以上となります。

○委員長 令和7年度は、手を挙げてくださるようなところがございますでしょうか。

○事務局 事業者としてですか。

○委員長 そうじゃなくて、学校が。

○事務局 基本的には、全ての学校に対して実施するというのは公表させていただいていますので、その中で、未実施校について、こちらのほうからも声かけさせていただきながら、学校さんとしては、今いろいろ教室の余裕教室なんかもあるので、そういったところを活用しながらやっていくということに対しては、否定的な意見はございませんので、実施できるというふうには考えております。

○委員長 例えば二つ手が上がったとしても、一つにするのですよね、これから。できれば、二つ一遍にできればいい。予算のこともあるでしょうけれども。

○事務局 二つ手が挙がっていただけると非常に助かるのですが、今おっしゃっていたように、予算的な制約もございますので、まずは1校ずつの開設ということでやらせていただきたいと思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにはよろしいでしょうか。何かお話が頂ければと思います。

○委員 今、令和11年には全ての学校になる予定なのですね。その後、できれば次は、全ての学校の低学年は、全員希望者は入れるとか、少しずつ、さらに拡充していったほしいなと思っています。以上です。

○委員長 ありがとうございます。続いてお願いします。

○委員 学童保育の担当課なので、また今後もそういった拡充だとか、そういった部分には、我々の内部でもよく連携をしながら進めていかなきゃいけないなということで考えています。さっき担当課長さんのほうからもお話があったように、恐らく今の学童保育の契約期間が令和7年度までなので、今度8年度から新たな契約になってくるので、そのときの連携を特に密にして進めていきたいなと思っています。よろしくお願いします。

○委員長 ありがとうございます。続いてお願いします。

○委員 今後ともよろしくお願いします。以上です。

○委員長 ありがとうございます。続いてお願いします。

○委員 本当に早く全ての、いろいろ回数とか増えていくといいなと思います。

あと、小学校って、6年生が1年生の面倒を見るとかというの、結構みんなやっていて、前ちょっと小学校の授業を見たときも、校内で低学年を楽しませるイベントを自分たちで考えて企画したのを発表するというのを6年生やっていたりするので、全学年ってなかなか難しいと思うのですが、1回ぐらい、6年生とか入って、運営とか手伝いというのとかがあると、すごく大人も子供もみんな助かるというか、そういうのはあると結構いいなというふうに個人的には思います。以上です。

○委員長 ありがとうございます。続いてお願いします。

○委員 先ほどもちょっと触れましたけれども、やはり市民として、老人の一人として、小学生の児童と交流ができるという機会をより持っていただけるとありがたいなと。

○委員長 ありがとうございます。続いてお願いします。

○委員 楽しい企画でいっぱいになっていますので、たくさんの方が参加できるように、よろしくお願いします。

○委員長 ありがとうございます。続いてお願いします。

○委員 今年度も講師として携わらせていただいて、子供たちのいつも笑顔が、すごく私達も元気をもらえたので、たくさんの方に講師として参加していただけたら、もっと輪が広がるかなと思います。よろしくお願いします。

○委員長 ありがとうございます。続いてお願いします。

○委員 ありがとうございます。立場的に発言がちょっと難しくなってきた部分もあるなと思っているのですが、私自身としては、もちろんいろいろな事業者の経験として意見を述べさせていただいていますけれども、ここでの発言は、本当にプランを推進していくということを目的にお話しさせていただきますので、また引き続きよろしくお願いいたします。

○委員長 ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

○委員長 次に議題３「その他」について事務局より説明をお願いします。

○事務局 議題３その他について説明をさせていただきます。

来年度の会議の開催についてですが、今の予定ですと、今年度と同様の開催数を予定しております。ですので、また会議を開催させていただく際には、日程調整をさせていただいて、会議を開催できればと思いますので、その際は御協力のほど、よろしくお願いいたします。説明は以上となります。

○委員長 ありがとうございます。よろしくお願いいたします。それでは、本日の議事は終了しました。本当に１年間ありがとうございました。また次の機会も、ぜひ御協力をいただきたいと思います。ありがとうございました。